

連携室だより

010号：  長崎県壱岐病院 地域医療連携室

～長崎県病院企業団としてスタート～

4月1日、新病院名「長崎県壱岐病院」として新たな一歩を踏み出しました。米倉正大病院企業団企業長をはじめ、多くの関係者様のご臨席をいただき新病院として、病院入口正面看板の除幕セレモニーが盛大に行われました。併せて、病院裏に建設中だった「研修センター」の内覧会を行いました。

診療もこれからは長崎県病院企業団の一員として、また地域中核病院として、更なる機能を強化し壱岐市のみならず長崎県の為に役立てるよう努めてまいります。



「長崎県壱岐病院」開院ご挨拶



長崎県壱岐病院 院長 向原茂明

平成27年4月1日、当院にとっては、歴史的な日になりました。それは、当院が長崎県病院企業団へ加入し、「長崎県壱岐病院」として新たに出発する日だからです。

当院は、明治28年に壱岐郡立病院として出発し、平成17年5月に4町合併に伴い名称を「壱岐市民病院」と改めました。そして本日「長崎県壱岐病院」となります。まさに120年の歴史を刻む由緒ある病院です。

一方、今回加入することとなった長崎県病院企業団は、昭和43年4月に離島の市町村病院を統合した「長崎県離島医療圏組合」が母体となります。統合前は、下五島、上五島、対馬の地域に9つの病院がありました。しかし医師確保が困難な時代でしたので、各々の病院での運営が厳しい時代でした。それを長崎県が統合し、病院運営の安定化図りました。その後、平成21年4月に2つの県立病院を合わせて「長崎県病院企業団」が誕生し、関係する市町は5市1町となり出発しました。

今回の当院の加入で、長崎県病院企業団は、長崎県すべての大型離島を包含し、6市1町で構成する大規模な運命共同体となります。

今後、壱岐市においても、今まで以上に人口減少や高齢者社会に対応し、住民の健康を守り、疾病に適切に対応していく能力の維持向上が求められます。当院では、長崎県病院企業団の一員として職員一丸となって、その名に恥じないよう、日々精進努力していく所存です。皆様のご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

長崎県壱岐病院 看護部長 米城和美



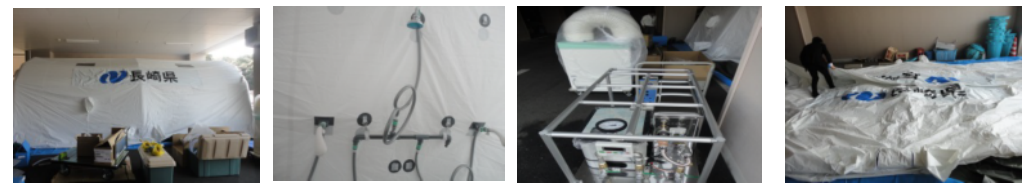
平成27年4月1日より、企業団に加入が出来、「長崎県壱岐病院」として新たな一歩を歩き始めることになりました。看護部所属の職員も少しずつ増員でき、免許や資格に応じた業務内容を整理できつつあります。それぞれの職種が自分の役割に遣り甲斐を持って勤務できるようになることが、患者さんへ最高の環境提供になると信じています。今まで以上に、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、また安心して安楽に療養していただけるよう努力してまいります。今後も皆さま方からのご意見を真摯に受け止めながら、職員が笑顔で働けるような病院でありたいと思います。今後ともよろしくお祈りいたします。

長崎県原発対策事業 ～市内基幹施設として～



去る3月11日で、東日本大震災から4年が経過しました。震災復興は十分進んでいるとは言えない状況で、現在も非難住宅で暮らしている方が多数おられます。壱岐市は佐賀県「玄海原発」からおおよそ30km圏内に位置し、あつてはなりません事故の際は避難対象区域となります。

3月に長崎県原発事故対策事業として、当院に除染施設テントが整備されました。これは、県内で玄海原発に近い市町村に設置されています。



エアートント方式で設置は10分程度で可能、テント内に除染シャワールームが2部屋あり、簡易ボイラーシステムが整備されています。ただ、この設備は日の目を浴びないことを願うところです。

新年度外来診療体制について

4月1日からの新しい外来体制表を掲載します。

外科医師の常勤化に伴い毎日診療となり、皮膚科外来が非常勤の為、火曜日/週へ変更となります。

その他、医師の転勤や新外来設置などに伴い担当医の曜日変更等がありますので、ご確認をお願いします。

[裏面に外来診療体制表掲載](#)

ご相談、ご質問などありましたら、いつでもご連絡ください。
長崎県壱岐病院 地域医療連携室
(直通) TEL 0920-47-1135 FAX 0920-47-1136